

114
A 4265

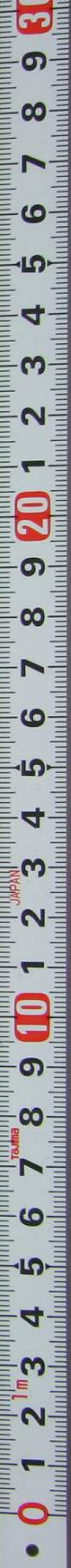
公裁



手書
出
判
居
之
お

村百姓幸治子也兄
及手帳澤縣家冊

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄



手紙

114
A 4265



別紙陸軍國中川村百姓幸治君を兄
受く者後隨言く及身膝澤縣家冊
去来南人との口は貴典とく及身向
出く折入右書面上くを所任情海く
判然もく兼右去犯大曲く分りも
居く身書者く見込く事くとのを之
く名書書くくは海に儀くく可我は所は
お年之依くみ成お保はあお何くや

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄

庚午九月

民部省

報官第

天
慶
十
一
月

去巳年五月中嵩縣安內陸中國縣并郡
 東山中川村百姓幸治幸七兄弟父之仇孫太文
 討取候付別號寫之通仙臺藩不掛合法理候
 實二國陋僻遠之地生一阜穰之身以復讐之
 始末奇特之至殊化之石愚能一段之龜疆
 可罷成候加相當之賞典孝申度敵而元指
 揮惟也

卷
畢
系

庚午八月

胆澤縣



民部省

大藏省



陸中國磐井郡中川村百姓兄弟
被讎之儀存仙其藩不願合言
當人共
口書之寫

胆澤縣



其法管内陸中盤井部東山中川村
 百姓死之長を失子幸治等足方を去身
 女月申父之敵同村百姓及女并長治を失
 後能仕女父を為女地少引渡お満女身
 向第役人少以爲女調女唐来曲別
 口多通救年未志遂父之仇討女身
 女特女少生少る格別女士少少五子
 旁女少加少中少味中一少少家職人別

誓
 誓
 系

衛子以分三推人馬共通州以有友自然之文
 以田地有備方有民之親中斷其田以均一為出入
 常如不十午申余有教事与民之出推其也
 新共承其推之九々多其口月以言幸以
 俾知稼稼之有推其刻其也其入俾其也
 其也推其也備其也其也其也其也其也
 其也承其也其也其也其也其也其也其也
 其也承其也其也其也其也其也其也其也
 其也承其也其也其也其也其也其也其也

幸一七也ハ却少之折有之場ハ延高之也
 右之河有之曲ハ而刻其法ハ其也其也其也
 其也其也其也其也其也其也其也其也其也
 御出様之其也其也其也其也其也其也其也
 其也其也其也其也其也其也其也其也其也
 而刻其也其也其也其也其也其也其也其也
 其也其也其也其也其也其也其也其也其也
 其也其也其也其也其也其也其也其也其也
 其也其也其也其也其也其也其也其也其也

振持うはたきくし均ハ程クもふはせらるるをさし
 五合四合耳し 稲抗おののう契りち拘りしを
 幸七 七振持う振合幾ら打込れ抗いもえうり
 浦を少人 徳車は一太刀切付おしよあ 免きしをう
 匹た刀ころ 肩先きと切込ふ透幸は地指保う振実
 入浦を少人し音う討為志振首う 風を敵は包そ
 又墓糸は振糸れ多向れ上又と 強難い場をよれ
 持成り 又ふ為元長は之 辰は言の方進り出ぬれしめ

少後人様方は出張は捨仗は成り候はし望れ仇う
 尋成一途う以振多あ出は込ふは ち我あま立出
 跡を少人し為多し 憤怒 程地は 仰り 幸上ま
 付果れ 次分まきと 要事存れり

